

第4学年3組 国語科学習指導案

指導者 杉山 直樹

1. 日時 平成29年6月7日（水） 第5校時
2. 単元名 読む楽しさを味わおう
教材名 文詩集かわさき
3. 単元構成

〈子どもの実態〉

○進んで伝える

4月から、自分の考えを発信することの大切さを確認してきた。当初はいい考えをもっていても言えずに泣いてしまう児童もいたが、自分の考えを発信し認めてもらうことで安心して考えを発信できるようになってきている。勇気をもって発信できたことに対して価値づけを続けておこなったことで、積極的な発言がみられるようになってきた。

○読むことに関して

詩を中心に、文詩集から何作品かを読み、イメージできたことを交流したり、好きな表現は「言葉ノート」に書き溜めたりしている。

〈教師の願い〉

○進んで伝える・豊かにかかわり合う

自分の考えに自信をもって発信し、聞き手も他者の意見を聞く楽しさを感じてほしい。様々な場面で他者の考えや思いに対して関心をもたない子が多いのでこの学習をきっかけにしてほしい。また、聞き手は、相手の伝えたいことと自分の考えを比較しながら聞き、積極的な交流をする姿を期待したい。

○読むことに関して

他者の作品を読み、共感する気持ちをもったり、違いを感じたりすること、語彙力を高めて表現力豊かに詩や作文を書くことができるようにしたい。

〈身に付けたい資質や能力〉

- 自分の好きな作品から紹介したいものを見つけ、交流の中でグループの人にわかりやすく伝えられる説明力をつけていきたい。
- 自分の考えに自信をもち、自分の考えと違う考えに対して、認め合える関係性を構築していきたい。そこから、他者の考えを知る大切さについて気付いていけるようにしていきたい。

〈教材の特徴〉

文詩集かわさきは、川崎市内の同学年の児童が書いた作品が掲載されている。したがって、同じような体験から生まれた作品や、着眼点が似ている作品が多いため共感しながら読み進めやすい。また、目次を活用して好きなページから読み進めることも可能である。

〈主たる言語活動〉

- 文詩集かわさきの中から自分の好きな作品を選び、友達と交流する。

4. 単元目標

様々な作品を読んで考えたことを紹介し合い、互いの感じ方や考えの違いに気付くことで、自分の考えを広げることができる。

5. 評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	言語に対する知識・理解・技能
好きな作品を見つけるために文詩集かわさきの作品を繰り返し読んだり、紹介し合ったりしようとしている。	自分が読んで紹介したい作品について、選んだ理由をあきらかにしながら読んでいる。(カ)	言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 イ (ア)

6. 一人一人が楽しく取り組む国語学習に向けて

(1) 魅力ある単元づくり

文詩集には市内の同学年児童が書いた作品が掲載されている。したがって、教科書に掲載されている詩や作家や詩人の書いた文章を味わうのとは一味ちがった楽しさを読み味わえる。また、同じような地域で育っている友達の作品だからこそ共感できるものは多いと考えられる。

しかし、作文集や詩集となると自ら手にとって読もうという意識は生まれにくいのが現実である。そこで、タイトルや印象に特徴的な書き出しなどをきっかけとして、文詩集を手にとって読んでみる機会としていきたい。また、今後の学習では自らの書く活動に生かしたり、作者の考え方と自分の考え方を比較したりする機会も設けていきたい。

(2) 主体的・対話的で深い学びへのアプローチ

① 文詩集かわさきとの出会いの工夫

教師が紹介する作品のタイトルからの連想、さらに作者が市内の同年代児童であることを後から知らせるなど、文詩集かわさきに出合わせ方を工夫し、驚きやインパクトを与えることで意欲的に読み進められるようにする

② 作品を選ぶ際の視点づくり

多くの作品をどのように読み進めればよいかわからない児童も多いと考えられる。自分の好きな作品を探すためにはどんな風に読んでいけばよいかを単元の最初にアイデアを出し合うことで、自分に合った読み方を見つけて、文詩集を自分で読めるようにしていく。

③ 交流の手立て

選んだ作品のどこがよいのかなど自分の考えを整理する時間を作る。作品を選んだ理由を整理することで、自分の心に何が引っかかったのかを明確にして交流に臨めると考えた。実際の交流では、単純に選んだ作品を発表し合う交流ではなく、「なぜこの作品を選んだのだと思いますか」という問いかけをスタートにすることで、聞き手も話し手の選んだ理由について探せるような交流にしていきたいと考える。

(3) 日常活動の生かし方

①交流の様々な形態

国語科だけでなく、全教科の中で、様々な交流の形態を行い、交流のよさについて感じながら進めている。付箋を使った感想交流や、自分の考えを図や説明文を使って、自由にいろいろな人に説明する。身近な話しやすい話題から学級全体で交流タイムを作って話し合う習慣を現在までに行っている。お互いに考えを伝え合いたい意欲と必要感を大切にして、他者とかかわる楽しさをつかめるようにしていきたい。

②言葉ノート

国語の学習全体で、自分の好きな表現や、季節の言葉を書き溜めることを始めた。実際に使える言葉を増やしていけるようにすることを目的として本単元でも様々な作品から見つけられるようにする。

★その他

年間通じて文詩集かわさきの使用をして表現力・語彙力をつけていくことをねらいとして以下のように指導計画を立てている。今単元は、その第一次として扱っていきたいと考えているため、文詩集かわさきとの出会いを一番重要視していきたいと考えている。

年間指導計画

	主な学習計画	つきたい力
一 (今単元) 全3時	<p style="text-align: center;">文詩集かわさきを読んでみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文詩集かわさきと出会おう ○いいなと思う作品を選んでみよう ○選んだ作品について友だちと交流し合おう 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のいいなと思う作品を選ぶ。 ○選んだ作品を友だちに紹介するための説明力と表現力。
二 全3時	<p style="text-align: center;">詩を書いてみよう (詩を書こう 季節の風景・言葉と関連づけて・・・)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○詩を書くときに文詩集かわさきの選んだ作品のなかから表現のヒントを得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○詩を書く視点で作品を選びながら読む。 ○詩の表現力・語彙力を増やしていく。
三 全3時	<p style="text-align: center;">作文を書いてみよう (文と文をつなぐ言葉)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作文を書くときに文詩集かわさきの選んだ作品のなかから表現のヒントを得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○作文を書く視点で作品を選びながら読む。 ○作文の表現力・語彙力を増やしていく。

7. 指導計画（3時間扱い）

次	時	評価規準☆評価方法	学習活動	指導上の留意点
一	1 (本時)	文詩集かわさきに興味をもって出会い、様々な作品を意欲的に読もうとしている。【関】	○教師が選んだ2作にふれる。 「待てかかし」 「伝説のダンゴムシ」 ・「わし」って面白いね。 ・誰が書いたのだろう。 ・面白いタイトルだな。	・題名を隠した方法や、題名のみ の提示する方法で、興味を持た せる。 ・文詩集かわさきを読みたいとい う気持ちを作れるようにする。
		文詩集「かわさき」に出会い、作品を読もう。		○いいなと思う作品に付箋を 付けてみる。 ○見つけた文や詩を簡単に 紹介し理由も紹介し合う。
一	2	【技】 言葉には考えたこと や思ったことを表 す働きがあることに 気付いている。 イ（ア） 【読】 自分が読んで紹介 したい作品について、 選んだ理由を明らか にしながら読んでい る。（カ）	○朝学習で読み進めた内容を 確認する。 ・付箋がたくさんついたよ。 ○選んだ作品の中からいくつ かに絞る。 ○作品を一つに絞る。 ○選んだ作品の理由やおすす めポイントをまとめる。	朝学習などの時間に自由に本に ふれられるような環境を整備す る。 ・自分の思いが相手に伝わりやす いようにまとめていくには、ど うしたらよいかを考えさせる。 ・選んだ方法、ひかれた部分を思 い起こしながら、まとめさせる。

	3	<p>好きな作品を見つけるために文詩集かわさきの作品を繰り返し読んだり、紹介し合ったりしようとしている。</p> <p>【関】</p>	<p style="text-align: center;">自分の選んだ作品について交流しよう。</p> <p>○選んだ作品について交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この作品は自分と同じ経験をしているんだ、自分もあの時、この人と同じ気持ちになったよ。 ・何行目のこの部分で、私も気持ちがよく想像できるから、この部分が気になって選んだのではないですか。 <p>○単元のふり返しをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの作品を選んだ理由を考えることが楽しかったな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介するときに意識することを確認する。 <p><交流方法></p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「～を選んだのはなぜだろう」 2) 友だちの選んだ作品を読む 3) 理由を考えてみる 4) 予想を聞いてみる 5) 理由を聞く <p>3人くらいのグループで ×3セット</p>
--	---	--	---	--

8. 本時の指導（1／3）

（1）目標 文詩集かわさきに興味をもって出会い、様々な作品を意欲的に読もうとしている。

学習活動	指導上の留意点〇と【評価】
<p>1. 最近の学習の流れを確認する。 ・教科書など自分の好きな表現を結構メモできてきたね。</p> <p>2. 詩と文に出会い、感想を交流する。 「待てかかし」「伝説のダンゴムシ」 ・作品のタイトルが面白い。 ・内容がどんな内容か気になるな。 ・これは同じ学年の人が書いた作品なんだ。 ・他にもどんな作品があるんだろう。</p> <p>3. 単元の流れと本時の学習課題を確認する。</p>	<p>〇言葉ノートでの取り組み、詩で注目したことなどをふり返られるようにする。</p> <p>〇作品に興味を湧くような資料の詩と文の提示のし方をする。</p> <p>〇文詩集かわさきを紹介して、一人一人に配布する。</p>
<p>文詩集かわさきに出会い、作品を読もう。</p>	
<p>4. 自分のいいなと思った三作品に付箋をつけながら読んでみる。 →途中で隣の人と選んだ作品について簡単に交流してもよいこととする。 ・ここの表現いいよね。 ・自分と同じ経験してるから気になった！ ・この作品の人、私と同じ性格みたいだよ。</p> <p>5. 全体で交流をする。 ・P,〇〇を選んだのは、同じ考えで共感できるからです。 ・選んだのは自分も同じ経験をしたことがあるからです。 ・作品の中に出てくるぼくといっしょで、同じ気持ちをもったことがあるからです。 ・この人のこういう考えを真似したいなと思いました。 ・こんな考え方があるんだと驚きました。</p> <p>6. 今日の時間をふり返る。 ・いいと思う作品を見つけるには、時間が必要だよ。 ・今日は少なかったけどもう少し読みたいな。</p>	<p>〇必要に応じて付箋を配布する。</p> <p>〇数を制限したのは気になった部分についてすぐに話ができるようにするためである。</p> <p>〇自分の気になった表現は言葉ノートにメモをできるようにする。</p> <p>〇国語の教科ではなく普段の読書時間などに読めるようにしていくことを伝える。</p> <p>【関】 好きな作品を見つけるために進んで文詩集かわさきを読んでいる。 ☆発言・付箋</p>

授業の視点

- 〇文詩集かわさきを読みたいという気持ちを児童がもっていたか。
- 〇全体交流の場で自分が選んだ作品について、友達に紹介しようとしているか。